

23. アメマス *Salvelinus leucomaenis* (Pallas)

図版7

英名 white-spotted charr

露名 クンチャ  
кунджа

地方名(北海道) イワナ、エゾイワナ (ともに河川残留型\*)

漢字 あめます えぞいわな  
雨鱒、蝦夷岩魚

アイヌ語名 トウクシシ

**【形態】** 体の背部は茶色がかった青緑色で、腹部は淡黄赤色から白色。体側と背部に、瞳孔と同じかそれより大きい白点がある。ふつう赤や朱色の点はないが、北海道南部では淡い朱点を持つ個体もある。降海型\*の白点はさらに大きく、体の背部は緑青色、体側は銀白色、腹部は白色、背びれの上部和尾びれの後縁は黒みを帯びる。河川残留型\*の尾叉長\*はふつう35cmまでで、降海型は北海道では最大で77cmに達する。

本州に分布するイワナは体側に赤あるいは朱色の斑点を持つが、アメマスとは同じ種\*であり、亜種\*よりも系統的に近縁な型\*のレベルで区別されるのが一般的。

従来、河川残留型はエゾイワナと呼ばれたが、この呼び名は最近ほとんど使われない。北海道東部では、オシヨロコマ *Salvelinus malma malma* をイワナと呼ぶことがあるので注意。

**【生態】** 分布域は、朝鮮半島以北の沿海地方、サハリン、千島列島、カムチャツカ半島などで、国内では最上川および利根川以北。北海道での分布域は知床

